

グローバルマーケティングコラム

中国 2020 年スマートフォン出荷数シェア

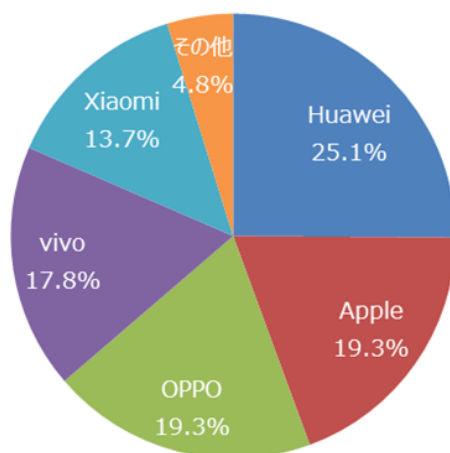
2020 年通年の出荷数は 11.2%減

IDC のデータによると、2020 年第 4 四半期の中国スマートフォン出荷数は、前年同期比 0.3%増加し、8,640 万に達しました。前年比ではほぼ横ばいですが、上位 5 社のうち Huawei 以外の Apple、OPPO、vivo、Xiaomi の 4 社は、順調な回復を見せています。2020 年通年の出荷数は、3 億 2,570 万台で前年比 11.2%減少しています。米国の輸出規制の影響で、Huawei のシェアが初めて 30%を割りました。Apple は、iPhone 12 の好調な売れ行きが全体を押し上げ、iPhone 11 シリーズの人気も継続し、2016 年以降で最高の出荷数を記録し、上位 5 社のうち唯一、通年通して成長しました。Apple とシェア同率 2 位の OPPO は、A32 と Reno 5 シリーズ人気によるもので、A32 は出荷数 4 百万台近くを叩き出し、Reno 5 シリーズは、USD350~USD450 という価格と目を引く Design が実店舗での購買を促し、2020 年 12 月単月で OPPO の 1 位の主な要因となりました。(参照※1、グラフ a)

5G スマートフォンは、中国では 2020 年 1 億 6,750 万台販売され、うち第 4 四半期だけで、6,010 万に達しています。2020 年に出荷されたスマートフォンのうち半数以上が 5G 対応機種です。2020 年第 4 四半期、5G 対応プロセッサのシェアトップは、USD300 を以下の低価格帯の台湾の半導体メーカー MediaTek で、Apple、Qualcomm、Huawei Hisilicon、Samsung、Unisoc と続きます。(参照※1)

グラフ a

2020年第4四半期 中国スマートフォン出荷数シェア



出典元: IDCのデータをもとにAUN作成

※1 China's Smartphone Market Was Relatively Flat in 4Q20, with 5G Driving More Than Two-Thirds of Volumes, IDC Reports

<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prAP47424421>